

平成 30 年 7 月 31 日（火）（15：00～16：00）

於 多治見市役所本庁舎 2 階大会議室

平成 30 年度 第 1 回 多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等
雨水排水対策協議会 議事要旨

1. 市長挨拶 省略

2. 委員紹介 省略

3. 進捗状況について

取組状況の報告

① 国土交通省庄内川河川事務所

河－4 脇之島川の合流処理（P 1）

平成 29 年度は脇之島川付け替え工事を完了し、進捗率は 100%となった。

河－6③ 土岐川の水位低下対策（P 3）

平成 29 年度は土岐川の河床掘削及び合流点付近の堆砂対策を施工完了し、進捗率 100%となった。

② 岐阜地方気象台

軽－1 防災情報の拡充（P 16）

平成 29 年度は、防災気象情報についての周知・啓発を行い、県内でも、防災気象講演会を実施した。また、スマートフォン等で自分のいる場所の「危険度分布」をワンタッチで表示できるように改善した（平成 30 年 7 月 27 日報道発表）。

③ 多治見市都市計画部

抑－3④ 貯留施設の新設（音羽町 2 丁目）（P 12）

平成 29 年度は多治見駅南地区再開発組合が発足したことに伴い、組合に対して雨水流出抑制策の検討を要望。平成 30 年度も組合に対して要望を実施し、実施設計の中で検討していただく。

抑－3⑤ 貯留施設の新設（P 13）

平成 27 年に完了した 2 号公園に合わせ、平成 29 年度 6 月に 1、3 号公園が完了し、計画していた貯留施設のすべてが完了した。

④ 多治見市建設部

河－５ 脇之島川の整備（P 2）

平成29年度末で河川改修工事が完了した。

河－９ 観音寺川の改修（P 4）

事業用地の確保が困難であったため、屈曲部の解消は長期的な課題とすることとし、平成29年度は現状河川のまま、特殊堤、河床洗掘補修、土砂浚渫の河川補修工事を施工完了し、治水安全度を向上させたため、進捗率100%とした。

抑－２ 流域調整（P 9）

平成29年度は笠原川に放流口を設置する排水路工事を完了した。排水路工事の中で平和中学校へ登っていく道路に側溝を整備した方がより効果が高いことが判明したため、進捗度95%とし、残り5%の側溝工事を平成30年度に完成予定。

抑－３① 貯留施設の新設（音羽緑地公園）（P 10）

音羽緑地内の雨水貯留施設設置が補助金採択要件に合致しないため、平成29年度は事業内容等を再度検討し、排水路新設工事に計画変更した。平成30年度に工事完成予定。

抑－３③ 流域調整（P 11）

平成29年度は測量設計を実施し、排水路新設工事を発注した。現在、工事施工中で平成30年度に工事完成予定。

抑－９ 土砂流出抑制（p 15）

平成29年度は治山事業として要望書を提出済み。土砂流出抑制に効果的な箇所が民地であり、事業実施に必要な保安林指定について、現時点では土地所有者の了解を得るのが困難である。

軽－１７ 土岐川緊急アクセス橋新設事業（p 17）

平成29年度は、平成28年度に引き続き、（仮称）平和太平線の関係機関と調整中である。

⑤ 多治見市水道部

排－２ ポンプ場の新設（P 5）

平成29年度末までに土木・建築工事が完了。7月末で機械・電気工事まで完了した。平成30年度は、外構・植栽工事を実施予定。

排－１３ 超過降雨対策としての雨水調整池の建設及び防災拠点整備（P 7）

平成29年度で用地売買契約を締結し、浸水対策事業としては進捗率100%となった。

抑-1 下水道計画の見直し（P8）

下水道整備事業の上位計画である流域別下水道整備総合計画等との整合を図る必要があるため、河川管理者と調整を図りながら事業を進めている。今後は河川の横断部に関して（仮）平和太平洋線の計画に合わせて検討・協議を進めていく。

抑-7 浸透施設の普及促進（P14）

平成29年度は個人宅への雨水タンク設置13件の助成を実施。計画期間内の事業としては完了したが、今後も引き続き、市の広報等で広く市民の方へ呼び掛けを行う。

浸水対策事業全体のご意見等

【アドバイザー意見】

浸水対策が非常にスピード感を持って進められ、非常に感心している。

これまでで、効果の大きな施設等が完了しており、いろいろな細かな点も計画通り進められており、一部まだ完了していない箇所もあるが、十分に効果を発揮できる段階となっている。これで、目標としていた降雨に対しては床上浸水がほぼなくなることが期待できる。

しかしながら、最近の各地の降雨状況をみていると、すごい雨の降り方をしており、いろいろな所で土砂崩れが発生している。そんな遠い地区は関係ないと思われることがあるかもしれないが、ハード的には高いレベルで整備されたが、これからはさらなるソフト対策が大切になる。平和町は土地として低い箇所のため、土岐川が氾濫することがあれば、大きな浸水が発生するので、ここで安心して、避難対策等を継続してやっていただきたい。

【岐阜県河川課】

ハード対策、ソフト対策が大事ではないかと考える。平成30年7月豪雨を踏まえ、河川に水位計が無かったり、水位計があっても避難判断の基準となる水位が設定されていない等について検証している。現在、安価に設置・運用ができる危機管理型水位計を国交省が開発し、水位計がない河川にも取り付けることができるようになった。今後も引き続き設置を調整していきたい。ただ、中小河川では、一般的に水位上昇が早く、避難判断の目安となる水位等の設定が難しいため、気象庁からの防災気象情報等も利用して、市町村や県民が総合的・主体的に判断できるような取組を進めていければと考えている。

4. 浸水対策事業の事後評価について

事務局より、事後評価について説明。

5. 今後の協議会のあり方について

【事務局提案】

当初の目標である「平成23年台風15号豪雨相当の降雨に対し、床上浸水を概ね解消」を達成したため、本地区での協議会としての役割は終えたと考える。

そのため、会議は今回で最後とし、現協議会は平成31年2月末～3月初旬に開催予定の土岐川左岸ポンプ場の竣工式を最後に発展的解消としたい。

また、今後は本協議会で培った横断的なつながりを生かした新たな協議会の発足も視野に関係機関と協議していきたい。

○事務局案に対し、承認された。

その他質疑・意見等

【11区区長】

短い時間で事業を実施していただき、地元として大変感謝している。関係機関の皆様にはいろいろとお世話になり、ありがとうございました。これで、想定範囲内での災害はなくなると思いますが、これから先、想定外というのが災害です。地元としても、想定されないことがいつ起こるか分からないと、危機感を持って対応したいと思いますので、これからもよろしくお願いします。ありがとうございました。

【26区区長】

本日の資料・説明を聞くにあたり、これだけたくさんの仕事をしていただいたと、感心と感謝の気持ちでいっぱいであります。ありがとうございました。

私の人生の中で、一番幼い時の記憶があるのが、昭和33年8月の大洪水です。それから幾度ともなく、私たちの住んでいる池田町が洪水に見舞われました。そして、一番新しいもので、平成23年の9月の豪雨でございます。これで、この地域に住む住民が本当に安心して暮らせると思います。どうもありがとうございました。

6. 事務連絡

- ・本日の協議会の記録は、後日取りまとめ、多治見市のホームページ及び該当地域の町内回覧で公表させていただく。
- ・土岐川左岸ポンプ場の竣工式を、現在の予定では平成31年2月から3月初旬に竣工式の開催を予定している。正式なご案内は後日行う。

7. 閉会